

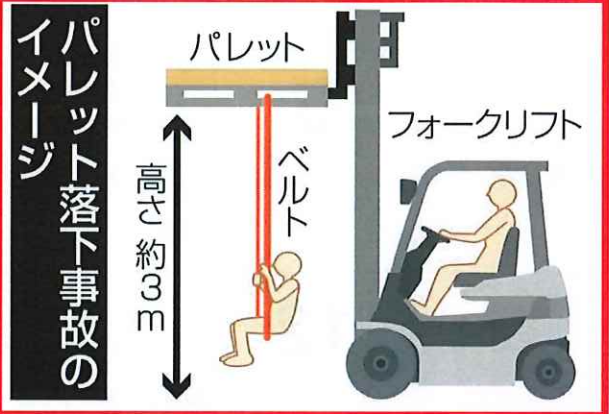


群

フォークリフトをブランコ代わりに使用

馬県前橋市で、小学3年生の女の子が父親と一緒にフォークリフトを使ってブランコのようにして遊んでいたところ、フォークリフトに差し込んでいたパレットが落ち、死亡しました。

午後4時半すぎ、前橋市にある設備会社の敷地内で、前橋市内の小学校に通う小学3年の女の子(8)が、父親と一緒にフォークリフトから吊るしたベルトをブランコのようにして遊んでいたところ、フォークリフトに差し込んでいたパレットが頭の上に落ちました。女の子は頭を強く打ち病院に運ばれましたが、その後死亡が確認されました。警察によりますと、フォークリフトは高さ3メートルまで上げられ、パレットは重さ数百キロとみられるということです。父親はフォークリフトを使ってブランコの遊び方をするのは初めてだったと話しているということで、警察は、パレットが落下した原因など当時の状況を詳しく調べています。



名

名古屋高速でのバス事故

名古屋高速で、分離帯に衝突したバスが横転する事故がありました。バスは名古屋市内の駅から、名古屋空港に向かっており、出口と本線の分離帯とクッションドラムに衝突した後に横転し、追突したとみられる乗用車とともに炎上しました。

この事故で、運転者とみられる男性と乗客の2人が死亡しており、警察は過失運転致死傷の疑いで、バス会社を家宅捜索しています。事故の真相は事故の専門調査機関である「事業用自動車事故調査委員会」の調査結果を待たなければなりません。事故前に「バスがフラフラしていた」との目撃情報もあり、事実であれば健康起因事故が疑われます。

近年の夏は、猛暑日が長期にわたって続くこともあり、食欲が減退したり、睡眠不足になったりと体調管理が難しくなっています。とくに熱中症にかかるリスクが高くなりますので、運転中はエアコンを入れて温度を下げて、こまめに水分補給をするようにしましょう。エアコンを使用すると、温度と共に湿度も下がってしまいますので、気づかない内に脱水症状になる「かくれ脱水」にも注意が必要です。



また、バス会社は事故を起こした運転者は点呼を受け、健康状態も問題がなかったとしています。点呼者はコミュニケーションを積極的に取り、普段の様子と違ったところがあれば、無理をさせず別の運転者に交代してもらうようにしましょう。